

カメムシ・高温緊急情報

令和6年7月31日
 なんと農業協同組合
 砺波農林振興センター

早生品種の3回目防除と出穂後 20 日間湛水管理の徹底!!

山際の地域や雑草が繁茂している畦畔、大麦跡ほ場に、カメムシが大発生しており、早生品種では2回の本田防除後もまだほ場内に侵入してきています。収量・品質確保のために、**早生品種は追加防除をしましょう。**

また、出穂しているにもかかわらず、水が入ってないほ場が散見されます。収量・品質向上のため、**出穂後20日間は水深3cm程度の湛水管理を徹底しましょう。**

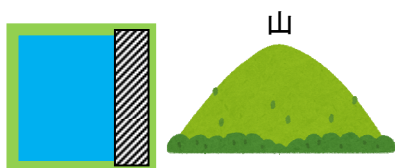
1 早生の追加防除 追加防除は8月4日までに行ってください

薬剤名	10a当り散布量	使用時期・使用回数
キラップ粉剤DL	4 kg	収穫14日前まで
エルサン粉剤2	4 kg	収穫7日前まで

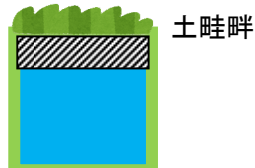
※在庫に限りがありますので、在庫状況（上記の薬剤、他記載のない液剤等）はJAなんとまでご確認ください。

追加防除が特に必要なほ場及びカメムシ類が集中しやすい要注意箇所（ 概ね幅3m）

①山際のほ場



②土畦畔のほ場

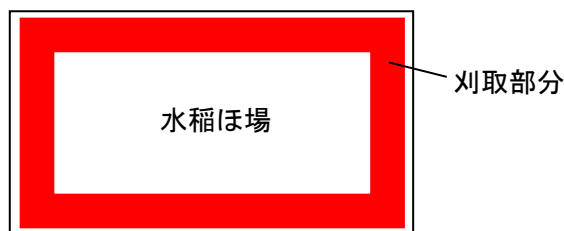


③大麦跡に隣接しているほ場



カメムシ被害粒が多い場合はCE荷受での二段階検査を実施します。

- ・圃場ごとに圃場まわりを別に刈取り、事前検査を行い、荷受をします。



- ・コシヒカリ（特裁除く）、てんこもりの本田防除は必ず2回実施しましょう。
- ・薬剤は畦畔にまでかかるように散布しましょう。
- ・畦畔の草刈りは防除直前に実施しましょう。

2 出穂～収穫の水管理 今後も高温が予想されます!!

- ・出穂後20日間は湛水管理を徹底し、登熟向上に努めましょう。
- ・早期落水により胴割粒のリスクが高まります。刈取5～7日前までの間断かん水を徹底しましょう。